

四国森林管理局入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成24年8月6日)

開催日及び場所		平成24年6月22日(金曜日) 四国森林管理局会議室		
委員		坂本 伸廣 (税理士) 田中 章夫 (公認会計士) 西森やよい (弁護士)		
審議対象期間		平成24年 1月 1日～平成24年 3月31日		
審議対象案件		81件 うち、1者応札案件 11件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 4件		
抽出案件		47件 うち、1者応札案件 5件 (抽出率 58%) (抽出率 45%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 3件 (抽出率 75%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争 20件 うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
	任意契約	該当なし		
	業務	一般競争 7件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件		
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		任意契約	公募型プロポーザル	該当なし
簡易公募型プロポーザル			該当なし	
標準型プロポーザル			該当なし	
その他の任意契約	該当なし			
物品・役務等	一般競争 18件 うち、1者応札案件 3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件			
	指名競争 該当なし			
	任意契約(企画競争・公募) 該当なし			
	任意契約(その他) 2件			
(特記事項) なし				

	意見・質問	回答等
<p>委員からの意見・質問</p> <p>それに対する回答等</p>	<p>○造林事業において低入札価格調査を実施しているが、どのような場合に行うのか。また、その低入札価格調査を受けた事業者が契約期間内で解除となった理由は何か。</p> <p>○調査設計について、治山と林道の落札率を比較すると、林道の方が高い傾向にあるが、なぜか。</p> <p>○衛星電話について、1者応札のうえ、落札率がかなり高い。予定価格は妥当だったのか。</p> <p>○ファイル等の事務用品の落札率が、非常に低い。品質は確保されているのか。</p> <p>○応接用椅子について、なぜ随意契約で購入したのか。</p>	<p>○造林事業における低入札価格調査については、予定価格1,000万円を超える物件で、予定価格の60%を下回る入札が行われた場合に実施する。本件は、実行段階で、進捗状況等が思わしくなく、発注者側で契約期間中に事業は完了できないと判断し、契約解除を行った。</p> <p>○林道は治山に比べ、踏査や調査・測量など現地での作業が多いことに加え、応札者数も少ないこと等から、落札率が高くなっているものとする。</p> <p>○衛星電話の携行性や連続通話時間等に対応できる入札参加者は1者となったところである。なお、予定価格は、業者からの見積もり価格や実例価格などを参考に積算している。</p> <p>○契約後、納期までに納入され、検査の結果、特に問題なかった。</p> <p>○当初、一般競争入札の入札公告を行ったが、メーカーが納期までの納入ができないことから、応札予定の販売業者全員が入札を辞退した。その後、辞退した業者から同等品の見積書を提出させ、最も低い見積金額を提示した業者と契約を行った。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]</p>	<p>特になし</p>	